

# WG10 旅行者情報 (Traveller Information Systems)

WG10が標準化対象とする旅行者情報提供システムは、ITSの中核をなす分野のひとつと言えます。本分科会には、FM放送、DSRC、デジタル放送などのメディア(通信媒体)を通じて、旅行者(ドライバ)に情報を提供するためのデータ辞書やメッセージセ

ットを検討するワークアイテムが存在します。最近では、TPEG (Transport Protocol Expert Group)のUMLモデル化が活発化しています。

## WG10 ワークアイテム一覧

	標準化テーマ	ISO番号	内 容
1	交通メッセージコードを介したTTIメッセージ TTI messages via traffic message coding	ISO 14819-1	RDS-TMCのコード化プロトコルの規格化
		ISO 14819-2	RDS-TMCのイベントと情報コードの規格化
		ISO 14819-3	RDS-TMCの位置参照方式の規格化
		ISO 14819-6	RDS-TMCの暗号化と条件アクセスの規格化
★ 2	グラフィックデータ辞書 Intelligent transport systems -- Graphic data dictionary	DIS 14823	図柄データ辞書コードの規格化
3	TPEGを利用したTTIメッセージ Traffic and Travel Information via Transport Protocol Experts Group	TS 18234-1	TPEG1 バイナリー版:イントロダクション、ナンバリング、バージョン管理の規格化
		TS 18234-2	TPEG1 バイナリー版:文法、セマンティクス、フレーム構造の規格化
		TS 18234-3	TPEG1 バイナリー版:サービスとネットワーク情報の規格化
		TS 18234-4	TPEG1 バイナリー版:交通情報メッセージアプリの規格化
		TS 18234-5	TPEG1 バイナリー版:公共交通情報の規格化
		TS 18234-6	TPEG1 バイナリー版:位置参照方式の規格化
		TS 18234-7	TPEG1 バイナリー版:駐車場情報の規格化
		TS 18234-8	TPEG1 バイナリー版:渋滞旅行時間情報の規格化
		TS 18234-9	TPEG1 バイナリー版:簡易交通事象情報の規格化
		TS 18234-10	TPEG1 バイナリー版:条件アクセス情報の規格化
		TS 18234-11	TPEG1 バイナリー版:位置参照方式の規格化
		TS 21219-1	TPEG2 UML版:イントロダクション、ナンバリングとバージョン管理の規格化
		TS 21219-2	TPEG2 UML版:UMLモデリングルールの規格化
		TS 21219-3	TPEG2 UML版:UMLからバイナリーへの変換ルールの規格化
		TS 21219-4	TPEG2 UML版:UMLからXMLへの変換ルールの規格化
		TS 21219-5	TPEG2 UML版:サービスフレームワークの規格化
		TS 21219-6	TPEG2 UML版:メッセージ管理コンテナの規格化
		NP 21219-7	TPEG2 UML版:位置参照方式の規格化
		TS 21219-9	TPEG2 UML版:サービスとネットワーク情報の規格化
		TS 21219-10	TPEG2 UML版:条件アクセス情報の規格化
		TS 21219-14	TPEG2 UML版:駐車場情報の規格化
		TS 21219-15	TPEG2 UML版:簡易交通事象情報の規格化
		DTS 21219-16	TPEG2 UML版:燃料価格の規格化
		TS 21219-18	TPEG2 UML版:交通流と予測アプリの規格化
		TS 21219-19	TPEG2 UML版:旅行者のための気象情報の規格化
		NP 21219-20	TPEG2 UML版:拡張TMC位置参照方式の規格化
		NP 21219-21	TPEG2 UML版:地理的位置参照方式の規格化
		NP 21219-22	TPEG2 UML版:OpenLR位置参照方式の規格化
		DTS 21219-23	TPEG2 UML版:道路とマルチモーダルルートの規格化
		TS 24530-1	TPEG XML版:イントロダクション、共通データタイプとtpgML1の規格化
TS 24530-2	TPEG XML版:位置参照方式の規		
TS 24530-3	TPEG XML版:道路交通情報の規格化		
TS 24530-4	TPEG XML版:公共交通情報の規格化		
CD 21219-24	TPEG2 UML版:TEPG用簡易暗号方式の規格化		
CD 21219-25	TPEG2 UML版:電気自動車充電スポット情報の規格化		

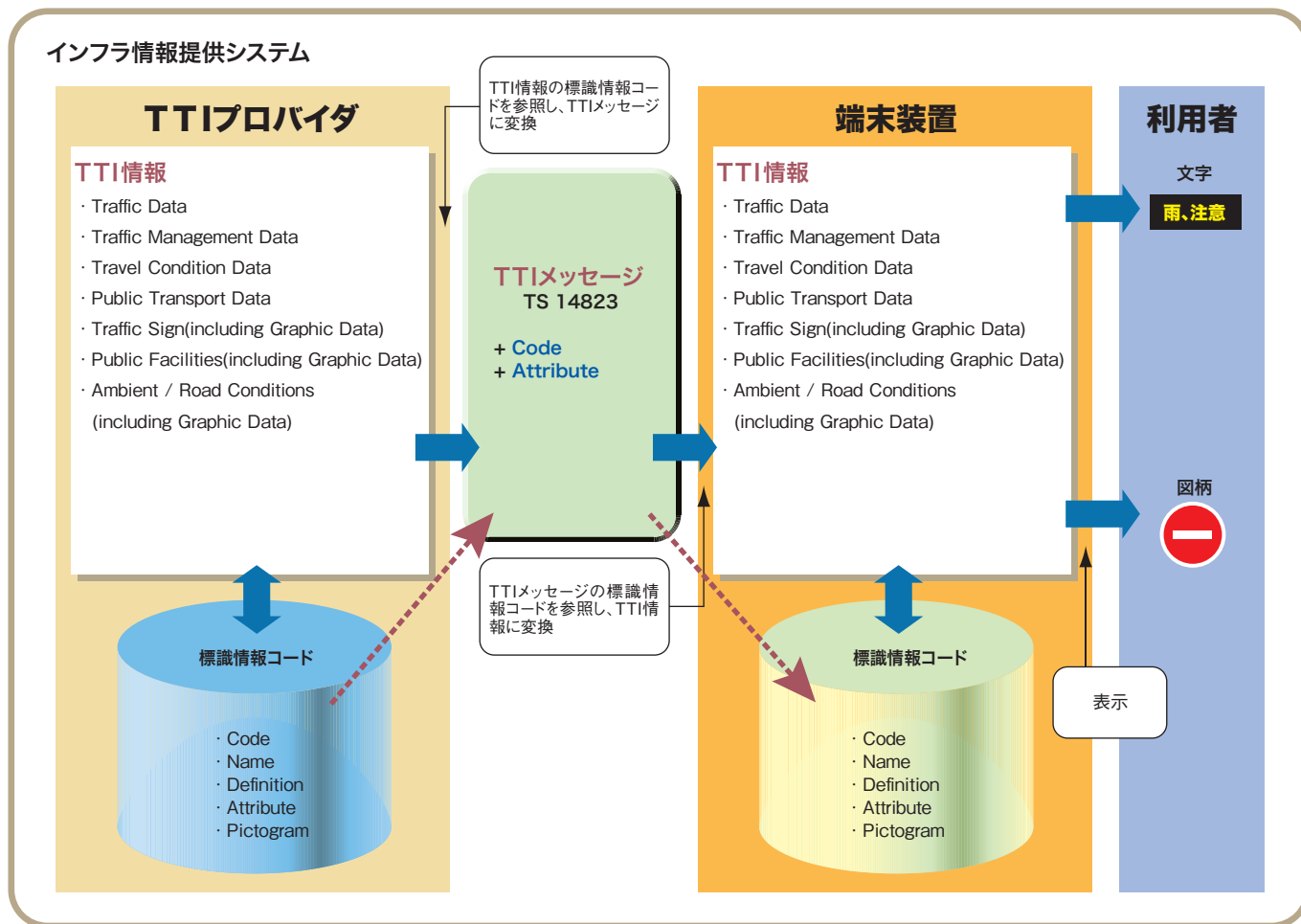
注: TTI: Traffic and Travel Information, RDS-TMC: Radio Data System-Traffic Message Channel

★日本がドラフト作成に積極的に関わっている項目

## グラフィックデータ辞書 (NP 14823)

道路交通案内用の標識や図柄を含むピクトグラムの情報コード (GDD: Graphic Data Dictionary)を標準化する作業項目です。これは、GDDコードをプロバイダから提供することにより、可変情報板や車載装置に該当するピクトグラムを表示する目的に使われます。各国によってピクトグラムが異なりますので、標準化対

象はあくまでピクトグラムの意味するコードであって、ピクトグラムの図柄そのものではありません。日本がリーダーシップをとっており、2008年にTSとして出版されました。現在、本項目をISとして再出版すべく、WG18 DT8.3及びWG1と連携しながらASN.1コードの見直しなどの更新作業を進めています。



## 放送型デジタル媒体を利用したTTIメッセージ (TS 18234-1~11 NP/DTS/TS 21219-1~25 TS 24530-1~4)

TPEGは、高速デジタルデータ放送を利用した交通情報提供方式に関する標準化提案です。

これまでTPEGはバイナリとXMLの2つのカテゴリで標準化が進められてきましたが、現在、UMLを用いた次世代型のTPEG2の標準化が進められています。また、実質的にTPEGの原案作成作業を進める欧州の団体TISA(Traffic Information Service

Association)とWG10間で正式なりエゾンが締結されました。TISAは勢力的に原案作成を進める一方、欧州、北米を中心にTPEGを利用した実用システムの普及が進んでいます。

今後、情報収集を進め、日本国内の関係者と連携し、コメントや対案の提示を進める予定です。

